

探そう！秋の七草

秋の七草は、春の七草のようにつんだり、食べたりするものではなく、ながめて楽しむために選ばれたものです。

秋に花が咲き乱れる野原を歩いて、短歌や俳句をよむことが昔から季節の楽しみとして行われてきました。



絶滅危惧種



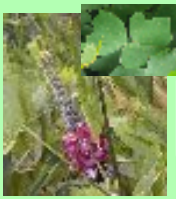
キキョウ（桔梗）

つぼみは風船のように、花びらと花びらがくっついている。

カワラナデシコ（河原撫子）



花の先は糸のようにひらひらとさけている。里山などでよく見られる。



クズ（葛）

赤紫の花は甘い香り。ぶどうの房のよう。

オミナエシ（女郎花）

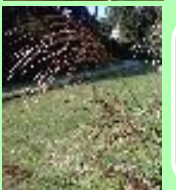


日当たりの良い土手に多い。8月～10月にかけ黄色い花を咲かせる。



ヤマハギ（山萩）

薄紫色の花がきれい。



ススキ（薔）

穂先の種子は生えた白い毛でふわふわと飛ぶ。尾花とも呼ばれている。

フシバカマ（藤袴）



河川などでよく見られる。サクラモチの葉のような香りがする。

準絶滅危惧種

フン虫と森

フンころがしは食糞性コガネシ類の名前で、

日本には162種生息しています。日本ではフンをころがす種は4種ありますが、

どの種も2mmほどの小さいものです。それぞれ形や色、彩、生活に多様性があります。

同じマグソコガネ属でもフンのなかにより卵を産む場所がちがいます。

ダイコクコガネ属のものでは土中に巣を作り、育兒玉を作りますが、種によって場所や形もちがいます。また、森の中に住むもの、日当たりの

良いところに住むものなど様々です。

このように多様なフン虫たちと動物は共生関係にあり、フン虫が分解した栄養分を草木が吸収し、おたがいに助け合って生きています。だから、森は美しくなるのです。



育兒玉



オオセンチコガネ（2cm）地域によって色あいが異なります

（赤緑系）



京都洛北産

（緑系）



京都洛東産

（青系）



奈良産

フン虫もいろいろ



ヒメコフスジコガネ



ダイコクコガネ



クチキマクソコガネ

京（みやこ）のいきもの発見ガイド



エンマコガネ	キギリス	カキタビ
鳴き声		
ココリリー♪	チッ、ギーッ♪	チッ♪チッ♪チッ♪
すみか		
畑や草地	草地など	生け垣など
成虫の大きさ		
26～32 mm	24～40 mm	9～15 mm
知ってる？		
オス同士が争う時は「キリッ」と速く短く鳴くよ。	危険を感じると死んだふりをするよ。	12月頃まで鳴き声を聴くことができるよ。メスには翅がないんだ。

平成23年度
秋・冬版



市内の公園や道路沿いの樹木、里山などで野鳥やきのこなど

身近な生き物を見つけた情報を、はがきやファックスで報告してください！

報告はこちら！

・京のいきもの発見ガイド添付のはがきで・

はがき

ポストへ投かん



k-kyosei@city.kyoto.jp

京都市環境政策局環境企画部
環境管理課

075-213-0922

FAX

バーコードリーダーで読み取ってね！



モス（百舌）



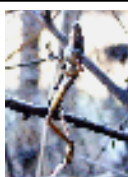
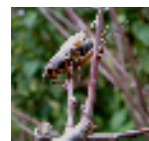
鳥

モスは、捕えた獲物を木の枝や有刺鉄線などに突きさしておく習性があります。それをモスの「はやにえ」といいます。後から食べることもあります。突きさされたままになっているものもあります。

モスのはやにえ



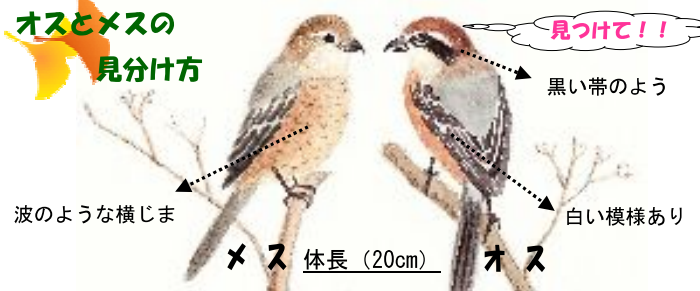
何かな？



調べてみよう！



オスとメスの見分け方



見つけて！！

黒い帯のよう

白い模様あり

メス 体長（20cm）

オス

本ガイドは、西台律子氏に監修いただきました。

掲載した生き物は、下記の方々にご紹介いただきました。

板倉豊 片山雅男 河合嗣生 小寺祐三 佐野修治 杉林江里香 谷幸樹 谷幸三 塚本圭一 鳥居万恭 二村一男 藤井肇 寺本典子（鳥のイラスト製作） 花背山の家

平成23年9月発行 京都市印刷物 第234417号

食べる木の実で、野鳥を探そう！



サンゴジュの実と
メジロ（11 cm・留鳥）

秋から冬にかけ、鳥たちのえさとなる昆虫や小動物たちは冬越しをしています。そのかわりに多くの鳥が熟した木の实を食べようと集まってきます。鳥の好きな木の実を見つければ、鳥たちに出会うことができるかも。



キツタの実と
ツグミ（24 cm・冬鳥）



ムクの実と
ハシブトガラス（56 cm・留鳥）



スギの実と
カワラヒワ（15 cm・留鳥）

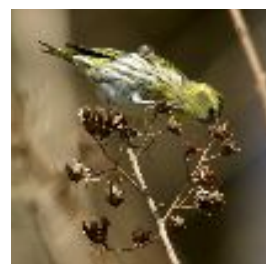
イロハモミジの実と
イカル（23 cm・漂鳥）



エノキの実と
アオゲラ（29 cm・漂鳥）



クロガネモチの実と
ヒレンジャク（18 cm・冬鳥） マヒワ（12 cm・冬鳥）

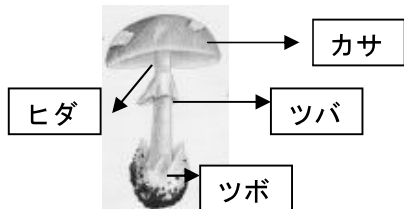


鳥のものさし

ハシブトガラス（56 cm）
キジバト（33 cm）
ヒヨドリ（27 cm）
ムクドリ（24 cm）
スズメ（14 cm）

大きさは、くちばしの先から尾の先までの長さです。

不思議ないきもの



危険

絶対にさわらないで
カエンタケ！！
さわると、手のはれることがあるよ！

きのこは、「植物」でも「動物」でもありません。「菌類」という仲間のいきものです。植物との間で、栄養や水分をもらったり与えたりしながら生きている「きのこ」を共生菌と呼びます。

また、森の中で死んだ動物の体や排泄物（うんこやおしっこ）や植物の枯れ木、落ち葉を分解して、健康な「土」にかえて生きている「きのこ」を腐生菌と呼びます。



ハタケシメジ



オオホウライタケ



ニオイコベニタケ



ホコリタケ



オニフスベ



ムラサキナギナタタケ



ウスキシヌガサタケ



マイタケ



ナラタケモドキ



アカヤマドリ



クチベニタケ



ヒメカバイロタケ



ニシキギ



シラキ



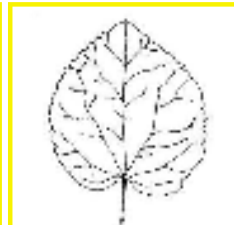
イロハモミジ



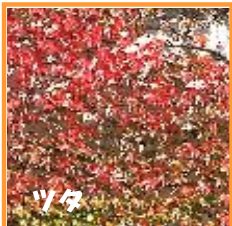
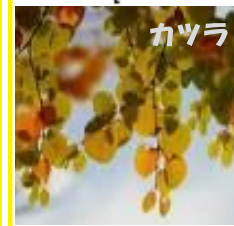
モミジ



イタヤカエデ



カツラ



ツタ



ナンキンハゼ



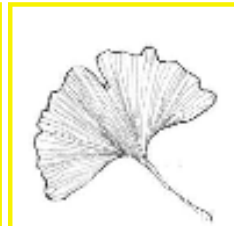
スミ



オオモミジ



イヌビワ



イチョウ

秋の葉っぱの いろいろ

一年で最も寒い季節である冬。昆虫たちはやがて訪れる春をじっと待っています。どんな姿で冬を越すか種類によって違います。



エノキ（榎）といきものたち

エノキは高さ25mにもなる京都の雑木林を代表する落葉広葉樹です。この木を求めて、昆虫や鳥等たくさんのいきものが集まってきます。



卵で

オオカマキリ



幼虫で

ゴマタラチョウ



さなぎで

クロアゲハ

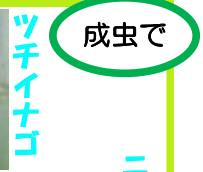


ナミアゲハ



キタテハ

ヨモギハムシ



成虫で

ニホンミツバチ

落ち葉の下を探そう！！ ぼくたちは、背中（うしろ）の突起（とつぎ）の数が違うんだよね。



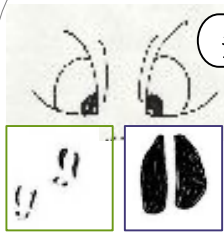
3対

4対



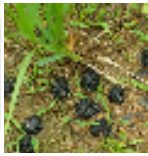
オオカマキリ幼虫

◆みつけてみよう



ジーツ

何の足あと？



何のフン！？



あつ、ホンシュウジカだ！！



青緑色のチョウがいるぞ！



フジバカマの花が好きなのかな？

アサギマダラかも！？



◆たべてみよう



アケビの実



サルナシの実

五感で探そう！



◆さわってみよう



木の実いろいろ



ススキの穂

◆においをかいでみよう



スーツ

ふんわり
お菓子みたいな
甘いにおいは・・・



カツラの葉っぱ

◆きいてみよう



セスジツユムシの鳴き声



クツワムシの鳴き声

ようこそ京都へ、冬鳥さん

京都のユリカモメは、カムチャッカ半島から渡ってくる冬鳥です。

ねぐらは、琵琶湖の沖合にあり、京都の河川にも毎朝えさを求めてやってきます。



ユリカモメ



オナガガモ



コガモ



ヒドリガモ

頭は緑色
くちばしは黄色
首に細く白い輪

マガモのオスとメスの見分け方

全体的に茶色のからだ



カモのメスは、くちばしで見分けやすいよ！

冬鳥：秋に日本より北の地域から海を越えて渡ってきて、冬越しをする鳥。
春には子育てのために北の地域へ帰っていく鳥。
留鳥：1年を通して見られる鳥。ただし、エサを求めて移動することもある。
漂鳥：秋に京都より北の方や山地から移動してきて、冬越しをする鳥。
春には子育てのために、京都より北の方や山地へ帰っていく鳥。

料金受取人払郵便



差出有効期間
平成24年3月
31日まで

郵便はがき

6 0 4 8 7 9 0

777

京都市中京区柳馬場通御池下ル
柳八幡町65番地朝日ビル4階

京都市環境政策局環境企画部
環境管理課 行



ルリタテハ



ガマシ



ジョウビタキ

見つけたもの (生き物の名前)	いつ (日 時)	どこで (場所)	メモ
	月 日 時		
	月 日 時		
	月 日 時		
	月 日 時		

お名前：

所属（学校など）：

